

第6次泉南市総合計画基本構想(案)修正点

No.	頁	修正前	修正後	修正内容																																																
1	14	<p>■ 住み続けたくない理由の上位項目（小中学生）</p> <table border="1"> <caption>修正前：住み続けたくない理由の上位項目</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>小学生 (N=38)</th> <th>中学生 (N=91)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>違うところに住みたいから</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>都会に住みたいから</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>何もないから</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>田舎だから</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>やりたいこと(夢)がある</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>治安が悪いから</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>便利なところがよいから</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	理由	小学生 (N=38)	中学生 (N=91)	違うところに住みたいから	14	20	都会に住みたいから	2	13	何もないから	1	13	田舎だから	5	8	やりたいこと(夢)がある	8	7	治安が悪いから	3	6	便利なところがよいから	3	6	<p>■ 住み続けたくない理由の上位項目（小中学生）</p> <table border="1"> <caption>修正後：住み続けたくない理由の上位項目</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>小学生 (N=38)</th> <th>中学生 (N=91)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>違うところに住みたいから</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>都会に住みたいから</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>何もないから</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>田舎だから</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>やりたいこと(夢)がある</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>落ち着いて住めないから</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>便利なところがよいから</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	理由	小学生 (N=38)	中学生 (N=91)	違うところに住みたいから	14	20	都会に住みたいから	2	13	何もないから	1	13	田舎だから	5	8	やりたいこと(夢)がある	8	7	落ち着いて住めないから	3	6	便利なところがよいから	0	6	<p>○ 回答項目を「治安が悪いから」→「落ち着いて住めないから」に変更</p> <p>○ 「便利なところがよいから」の小学生の回答数を「3」→「0」に修正</p> <p>※ 第1回審議会後に修正</p>
理由	小学生 (N=38)	中学生 (N=91)																																																		
違うところに住みたいから	14	20																																																		
都会に住みたいから	2	13																																																		
何もないから	1	13																																																		
田舎だから	5	8																																																		
やりたいこと(夢)がある	8	7																																																		
治安が悪いから	3	6																																																		
便利なところがよいから	3	6																																																		
理由	小学生 (N=38)	中学生 (N=91)																																																		
違うところに住みたいから	14	20																																																		
都会に住みたいから	2	13																																																		
何もないから	1	13																																																		
田舎だから	5	8																																																		
やりたいこと(夢)がある	8	7																																																		
落ち着いて住めないから	3	6																																																		
便利なところがよいから	0	6																																																		

No.	頁	修正前	修正後	修正内容																																																
2	6	→人口増加ありきではなく、これからの人口規模・人口構造に応じたまちづくりが必要	→ <u>人口減少をできるかぎり緩やかにするとともに、これからの人口規模・人口構造に応じたまちづくりが必要</u>	○「人口減少ありき」というネガティブな表現から変更 ※第2回審議会後に修正																																																
3	9	<p>■産業構造（就業者割合）</p> <table border="1"> <caption>産業構造（就業者割合）</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>第1次産業</th> <th>第2次産業</th> <th>第3次産業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年(2000)</td> <td>3.0%</td> <td>31.2%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>平成17年(2005)</td> <td>2.9%</td> <td>27.8%</td> <td>69.3%</td> </tr> <tr> <td>平成22年(2010)</td> <td>2.8%</td> <td>26.1%</td> <td>71.1%</td> </tr> <tr> <td>平成27年(2015)</td> <td>2.8%</td> <td>25.7%</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年(2020)</td> <td>2.7%</td> <td>24.9%</td> <td>72.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年次	第1次産業	第2次産業	第3次産業	平成12年(2000)	3.0%	31.2%	65.9%	平成17年(2005)	2.9%	27.8%	69.3%	平成22年(2010)	2.8%	26.1%	71.1%	平成27年(2015)	2.8%	25.7%	71.5%	令和2年(2020)	2.7%	24.9%	72.4%	<p>■産業構造（就業者割合）</p> <table border="1"> <caption>産業構造（就業者割合）</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>第1次産業</th> <th>第2次産業</th> <th>第3次産業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年(2000)</td> <td>3.0%</td> <td>31.2%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>平成17年(2005)</td> <td>2.9%</td> <td>27.8%</td> <td>69.3%</td> </tr> <tr> <td>平成22年(2010)</td> <td>2.8%</td> <td>26.1%</td> <td>71.1%</td> </tr> <tr> <td>平成27年(2015)</td> <td>2.8%</td> <td>25.7%</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年(2020)</td> <td>2.7%</td> <td>24.9%</td> <td>72.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年次	第1次産業	第2次産業	第3次産業	平成12年(2000)	3.0%	31.2%	65.9%	平成17年(2005)	2.9%	27.8%	69.3%	平成22年(2010)	2.8%	26.1%	71.1%	平成27年(2015)	2.8%	25.7%	71.5%	令和2年(2020)	2.7%	24.9%	72.4%	○令和2年実績を追加 ※第2回審議会後に修正
年次	第1次産業	第2次産業	第3次産業																																																	
平成12年(2000)	3.0%	31.2%	65.9%																																																	
平成17年(2005)	2.9%	27.8%	69.3%																																																	
平成22年(2010)	2.8%	26.1%	71.1%																																																	
平成27年(2015)	2.8%	25.7%	71.5%																																																	
令和2年(2020)	2.7%	24.9%	72.4%																																																	
年次	第1次産業	第2次産業	第3次産業																																																	
平成12年(2000)	3.0%	31.2%	65.9%																																																	
平成17年(2005)	2.9%	27.8%	69.3%																																																	
平成22年(2010)	2.8%	26.1%	71.1%																																																	
平成27年(2015)	2.8%	25.7%	71.5%																																																	
令和2年(2020)	2.7%	24.9%	72.4%																																																	
4	12	<p>（3）市民ニーズ</p> <p>定住意向や、施策に対する満足度、重要性など、これからのまちづくりの方向など、泉南市民のニーズを整理します。</p>	<p>（3）市民ニーズ</p> <p>定住意向や、施策に対する満足度、重要性など、これからのまちづくりの方向など、泉南市民のニーズ<u>から見える現状の一面として整理します。</u></p>	○アンケート結果が市民ニーズのすべてではないことを追記 ※第2回審議会後に修正																																																
5	21	<p>視点1 みんなでつくり、共に進めるまちづくり</p> <p>≪市民協働、公民連携等≫</p> <p>まちづくりは行政のみが担うものではありません。市民の主体的な参画のもとに地域課題を解決し、地域をより暮らしやすく、住み続けたいと思えるまちづくりが必要です。</p>	<p>視点1 みんなでつくり、共に進めるまちづくり</p> <p>≪市民協働、公民連携等≫</p> <p>まちづくりは行政のみが担うものではありません。市民や企業の主体的な参画のもとに地域課題を解決し、地域をより暮らしやすく、住み続けたいと思えるまちづくりが必要です。<u>これまでも多様な市民活動や民間による開発などにより、いまの泉南市が形成されてきました。</u></p>	○泉南市の特徴として企業や民間の役割、開発などについて追加 ※第2回審議会後に修正																																																

No.	頁	修正前	修正後	修正内容
6	21	<p>視点2 地域資源の力を引き出すまちづくり ≪人、自然、歴史、文化、産業、観光等≫</p> <p>これまでの泉南市の発展や成長には、関西国際空港やりんくうタウンの整備、住宅団地の開発などが貢献してきました。しかし、これらのほとんどは完成し、人口も増加に転じることはないものと見込まれます。そのため、これまでの成果を維持・活用しながら、あらためて自らの有形無形の財産や特徴を見つめなおすことが必要です。</p>	<p>視点2 地域資源の力を引き出すまちづくり ≪人、自然、歴史、文化、産業、観光等≫</p> <p>これまでの泉南市の発展や成長には、関西国際空港やりんくうタウンの整備、住宅団地の開発などが貢献してきました。<u>人口が減少に転じている中で、まちの活力を維持していくためには、これまでの成果を活用しながら、あらためて自らの有形無形の財産や特徴を見つめなおし、独自の魅力として磨きあげていくことが重要</u>です。</p>	<p>○「人口も増加に転じることはない」というネガティブな表現から変更</p> <p>※第2回審議会後に修正</p>
7	21	<p>視点3 新しい時代を見据えたまちづくり ≪ポストコロナ、DX、SDGs、脱炭素等≫</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動や人々の行動・意識・価値観が変容し、テレワークやオンライン授業、電子決済など、生活のあらゆる場面でデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速するなど、先端技術の活用による社会の変革が進んでいます。また、地球環境への配慮は国際社会共通の責務となっており、泉南市においても、身近な暮らし方から改善を図っていくことが必要です。</p>	<p>視点3 新しい時代を見据えたまちづくり ≪ポストコロナ、DX、SDGs、脱炭素等≫</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動や<u>個人の行動・価値観</u>が変容し、テレワークやオンライン授業など、あらゆる場面でデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速するなど、先端技術の活用が進んでいます。<u>泉南市においてもこうした機運を捉え、官民ともに効率的・効果的なまちづくりにつなげる必要があります。</u>また、地球環境への配慮は国際社会共通の責務となっており、<u>海・山の自然に恵まれた泉南市においても、先人から受け継がれてきた大切な資源を守り、活かすため、</u>身近な暮らし方から改善を図っていくことが必要です。</p>	<p>○デジタル化や脱炭素について、泉南市でも活用していく姿勢を示す表現に変更</p> <p>○今ある資源を生かしていく視点を追加</p> <p>※第2回審議会後に修正</p>

No.	頁	修正前	修正後	修正内容
8	22	<p>これからの泉南市が目指すまちづくりの軸</p> <p>人口減少・少子高齢化が進む中で、これからのまちづくりにおいては、人口増加を目指すことを前提とした取組は効果的とは言えません。そのため、住んでいる人の幸せを最大限に高めることを念頭に置き、コンパクトシティ化や学校再編、公共施設の削減など人口構造に合わせたまちづくりや、公民連携や先端技術の活用など、時流に即したまちづくりを進めることで、市民の暮らしの満足度が高い、「住み続けたい」と思えるまちを目指します。</p> <p>また、りんくうタウンに位置する泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）等、多くの人々が訪れる特性を活かし、泉南市の魅力を積極的に市内外に発信していくことで、持続可能なまちを目指します。</p>	<p>これからの泉南市が目指すまちづくりの軸</p> <p>人口減少・少子高齢化が進む中で、これからのまちづくりにおいては、人口増加を目指すことを前提とした取組は効果的とは言えません。そのため、住んでいる人の幸せを最大限に高める <u>とともに、時代に合わせた改革で次代に引き継ぐことができる強くしなやかなまちづくり</u>を念頭に置き、コンパクトシティ化や学校再編、公共施設の削減など人口構造に合わせたまちづくりや、公民連携や先端技術の活用など、時流に即したまちづくりを進めることで、市民の暮らしの満足度が高い、「住み続けたい」と思えるまちを目指します。</p> <p>また、<u>関西国際空港のゲートウェイという立地を活かし、企業誘致や投資を促進するなど経済活動の好循環の実現を目指すとともに</u>、泉南市の魅力を積極的に市内外に発信していくことで、持続可能なまちを目指します。</p>	<p>○新市長の方針に基づき、追加・修正</p> <p>※第2回審議会後に修正</p>